

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ (J) (2単位)	3. 科目番号	SSMP3182
2. 授業担当教員	西村 明子		
4. 授業形態	講義、個別学習、グループ学習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>ソーシャルワーク実習指導は、実習指導Ⅰ、Ⅱ、Ⅲとソーシャルワーク実習を軸として継続的に展開するよう構成されている。これらの授業の主な学習方法は、資料による情報収集、文献調査、グループ討議、ロールプレイ等多様な方法を用いて、社会福祉実践に必要な知識と技能の具体的な学習、また実習前・中・後指導を通じて、理論と実践との統合を図ることを目的としている。</p>		
8. 学習目標	<p>ソーシャルワーク実習指導Ⅲが終了した時点で、下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実習先での実践を振り返り、クライアントへの援助実践に必要な技術と知識、また自己課題について明確に説明できる。</li> <li>2) 実習先での実践を振り返り、社会福祉専門職が行う各種手続きについて明確に説明できる。</li> <li>3) 実習先での実践を振り返り、社会福祉専門職が行う相談援助業務について明確に説明できる。</li> <li>4) 実習先での実践を振り返り、専門職間の連携について明確に説明できる。</li> <li>5) 実習先での実践を振り返り、社会資源、関係機関との連携について明確に説明できる。</li> <li>6) 倫理綱領の重要性について、実践（実習）をもとに理解を深め、実践に基づく説明ができる。</li> <li>7) 自己の価値観念についてめとめ、それが援助にどのように反映するか考えをまとめられる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>課題 1～7：講義日程に示す通り 課題 8：実習報告書の作成</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 社団法人日本社会福祉士養成校協会監修 『社会福祉士 相談援助実習』第2版、中央法規、2014年。 東京福祉大学『ソーシャルワーク実習の手引き』※ソーシャルワーク実習指導Ⅰにて配布 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士実習 学習の手引き』 ※ソーシャルワーク実習指導Ⅰにて配布</p> <p>【参考書】 川村隆彦編著『事例で深めるソーシャルワーク実習』中央法規、2014年。</p>		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習先での実践を振り返り、クライアントへの援助実践に必要な技術と知識、また自己課題について明確に説明できる。</li> <li>2. 実習先での実践を振り返り、社会福祉専門職が行う各種手続きについて明確に説明できる。</li> <li>3. 実習先での実践を振り返り、社会福祉専門職が行う相談援助業務について明確に説明できる。</li> <li>4. 実習先での実践を振り返り、専門職間の連携について明確に説明できる。</li> <li>5. 実習先での実践を振り返り、社会資源、関係機関との連携について明確に説明できる。</li> <li>6. 倫理綱領の重要性について、実践（実習）をもとに理解を深め、実践に基づく説明ができる。</li> <li>7. 自己の価値観念についてめとめ、それが援助にどのように反映するか考えをまとめられる。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 課題 1～課題 7 30%</li> <li>2. 課題 8 (実習報告書) 30%</li> </ol> <p>講義参加度 (事前事後学習、提出物等状況を含む) 40%</p> <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の取得を認めない。</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。</li> <li>2. 自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。</li> <li>3. 授業中は欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。</li> <li>4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であってもF評価になるので注意すること。</li> <li>5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。</li> </ol> <p>教員は以下のことを実行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。</li> <li>2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明する。</li> <li>3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加 (発言、発表等) できるよう双方向対話型の学習環境を作る。</li> <li>4. 遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	授業中に通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	

第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルワーク実習指導Ⅱの振り返りと確認</li> <li>・ソーシャルワーク実習指導Ⅲの講義内容、進め方の説明</li> </ul>	事前学習	ソーシャルワーク実習指導Ⅱでの事前事後学習ノートを振り返る。
		事後学習	実習で用いた資料等を整理し、今後の学習へ活かす。
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践事例の報告と検討： 担当した事例（事業）についての報告と意見交換</li> <li>・社会福祉専門職についての理解： 実習施設・機関で行われる各種手続きについてまとめる（課題1）</li> </ul>	事前学習	実習記録を整理し、課題に該当する項目を抽出する。
		事後学習	課題1の作成。
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践事例の報告と検討： 担当した事例（事業）についての報告と意見交換</li> <li>・社会福祉専門職についての理解： 実習施設・機関における相談援助業務についてまとめる（課題2）</li> </ul>	事前学習	実習記録を整理し、課題に該当する項目を抽出する。
		事後学習	課題2の作成。
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践事例の報告と検討： 担当した事例（事業）についての報告と意見交換</li> <li>・社会福祉専門職についての理解： 実習施設・機関で行われている行事等の実施過程についてまとめる（課題3）</li> </ul>	事前学習	実習記録を整理し、課題に該当する項目を抽出する。
		事後学習	課題3の作成。
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践事例の報告と検討： 担当した事例（事業）についての報告と意見交換</li> <li>・職種間連携についての理解： 実習施設・機関における各部門職種とその機能・関係についてまとめる（課題4）</li> </ul>	事前学習	実習記録を整理し、課題に該当する項目を抽出する。
		事後学習	課題4の作成。
第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践事例の報告と検討： 担当した事例（事業）についての報告と意見交換</li> <li>・機関の社会的連携についての理解： 実習施設・機関と社会資源・関係機関との連携についてまとめる（課題5）</li> </ul>	事前学習	実習記録を整理し、課題に該当する項目を抽出する。
		事後学習	課題5の作成。
第7回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践事例の報告と検討： 担当した事例（事業）についての報告と意見交換</li> <li>・専門職の倫理綱領と実践についての理解： 実習施設・機関での実践と専門職倫理との関係性についてまとめる（課題6）</li> </ul>	事前学習	実習記録を整理し、課題に該当する項目を抽出する。
		事後学習	課題6の作成。
第8回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践事例の報告と検討： 担当した事例（事業）についての報告と意見交換</li> <li>・ソーシャルワーカーとしての自分について理解を深める： 自分の家族背景、交友関係等から、どのような価値観をもつようになったか、この価値観が援助にどのように反映すると考えるかまとめる（課題7）</li> </ul>	事前学習	実習記録を整理し、課題に該当する項目を抽出する。
		事後学習	課題7の作成。
第9回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の全体総括（テキスト pp.324～328）： 実習報告会の意義と方法について理解し、報告を行う</li> <li>・ソーシャルワーク実習の学習効果と課題の整理： ソーシャルワーク実習の実施を踏まえて実習報告書を作成</li> </ul>	事前学習	テキスト pp.324～328 を熟読し、実習報告会の意義について理解を深める。
		事後学習	実習報告書の作成
第10回	実習の評価・総括（実習成果発表会）①	事前学習	実習の評価・総括に関するプレゼンテーションの準備。
		事後学習	教員・クラスメンバーからのフィードバックをまとめる。
第11回	実習の評価・総括（実習成果発表会）②	事前学習	実習の評価・総括に関するプレゼンテーションの準備。
		事後学習	教員・クラスメンバーからのフィードバックをまとめる。
第12回	実習の評価・総括（実習成果発表会）③	事前学習	実習の評価・総括に関するプレゼンテーションの準備。
		事後学習	教員・クラスメンバーからのフィードバックをまとめる。
第13回	実習の評価・総括（実習成果発表会）④	事前学習	実習の評価・総括に関するプレゼンテーションの準備。
		事後学習	教員・クラスメンバーからのフィードバックをまとめる。
第14回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の評価について理解する（テキスト pp.290～308・及び東京福祉大学ソーシャルワーク実習生自己評価表）： 実習評価の意義について理解を深め、自己評価を行う</li> </ul>	事前学習	実習活動を通じて自己について振り返り、価値観と実習行動等の関係性について考察し、記録にまとめる。
		事後学習	実習自己評価を行う担当教員へ提出する。
第15回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習後の学習課題（テキスト pp.310～321）： 目標と結果の照合、今後の課題について明確化する</li> </ul>	事前学習	実習及び報告によって明確化した今後の課題を事後学習の報告とともにまとめる。

		事後学習	実践活動に向けた自己課題について記録にまとめる。
--	--	------	--------------------------